

2018年9月期 第2四半期

決算説明

株式会社エボラブルアジア
東証第一部：6191
2018/5/15



EVOLABLE ASIA

- 海外航空券、海外旅行において国内最大手OTA **DeNA** **トラベル** を子会社化
- 営業利益 前年同期比209%の高成長 通期予算に対して順調に進捗
- エアトリプロモーション実績

DeNAトラベルの子会社化

- 1 海外航空券、海外旅行において国内最大手^(※1) OTA 「DeNAトラベル」を買収
- 2 本件買収により業界第2位^(※2)の総合OTAに
- 3 連結取扱高2,000億円を目指す
- 4 国内旅行・海外旅行ダイナミックパッケージシステムを保有

※1当社調べ。

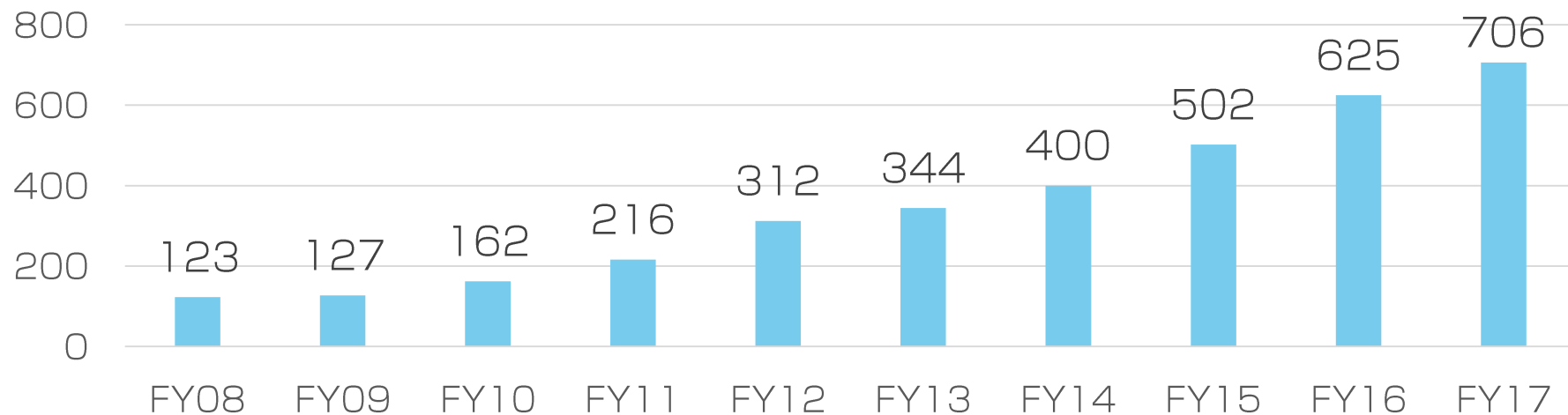
※2当社調べ。日系総合OTA業界において。

取得比率	100%
取得方法	株式譲渡
取得対価	現金
譲受価格	1,200百万円
基本合意日	2018年5月14日
譲受予定日	2018年5月31日（予定）



商号	株式会社DeNAトラベル
設立	1979年7月
代表者	大見 周平
株主	株式会社ディー・エヌ・エー
所在地	東京都新宿区
資本金	1億円
従業員数	260名（17年3月31日時点）
事業概要	旅行商品・サービスの提供等

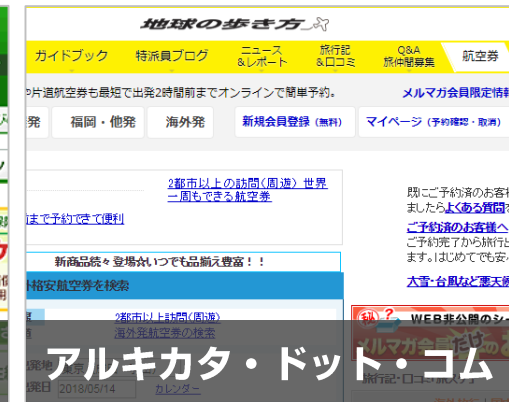
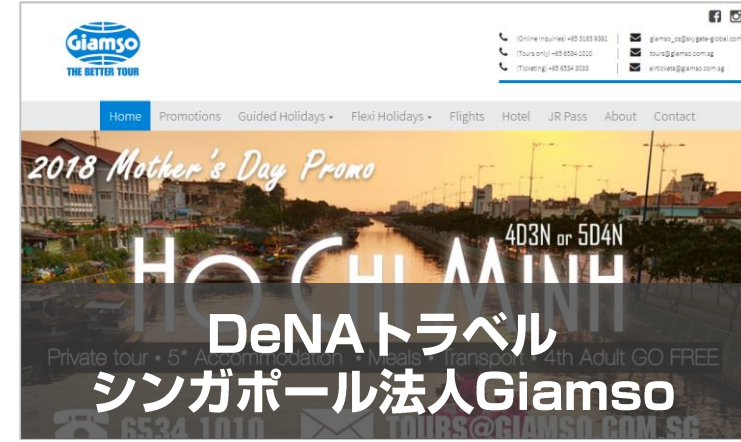
取扱高推移（億円）



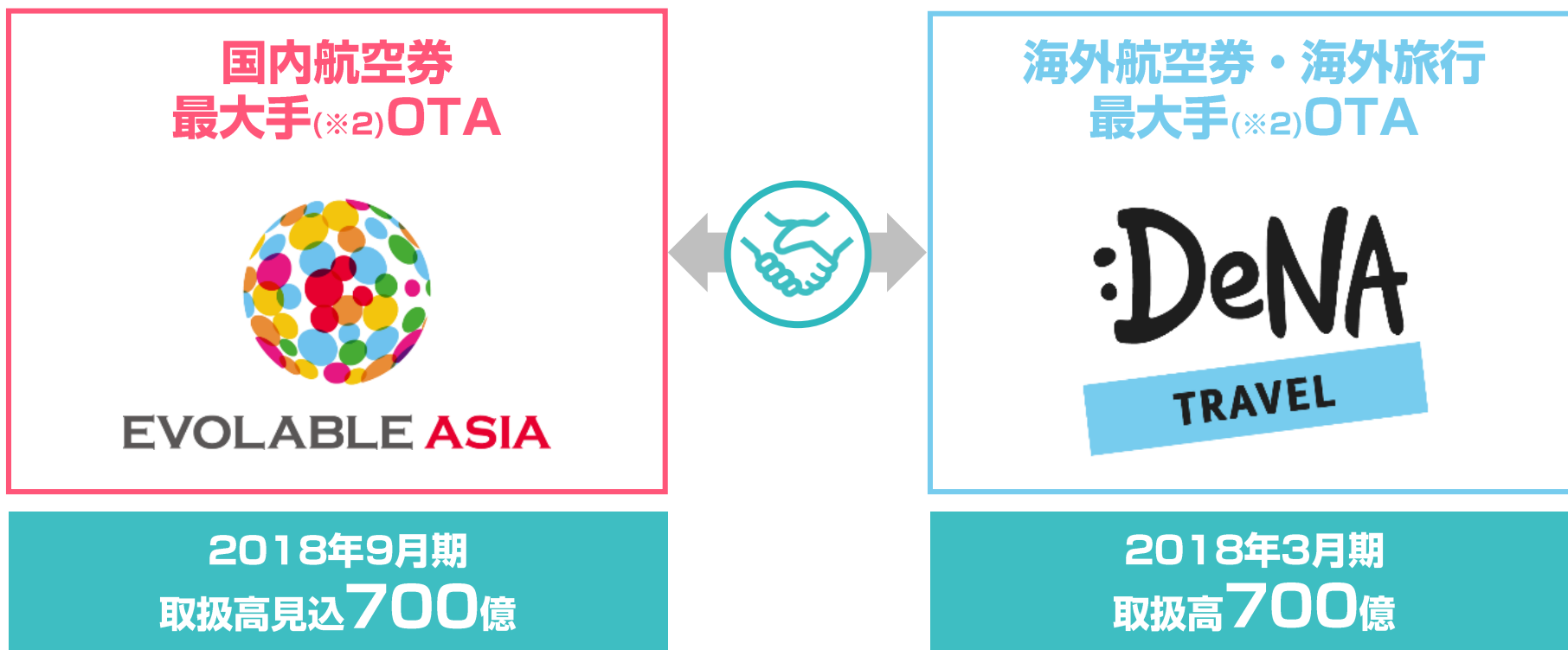
DeNA Travel 事業ラインナップ



DeNA Travel
スマホアプリ



取扱高合計1,400億円 業界第2位^(※1)の総合OTAへ 取扱高2,000億円を目指す



※1当社調べ。日系総合OTA業界において。
※2当社調べ。



EVOLABLE ASIA

■ 国内線全キャリアグループと契約

OTAで唯一、日本航空※、全日本空輸、スカイマーク、ピーチ、Jetstar、バニラエア、春秋航空、エアアジア、フジドリームエアラインズの認可代理店契約を保有



※グループ会社のエヌズ・エンタープライズ社にて認可代理店契約を保有

DeNA

TRAVEL

■ 国際線フルサービスキャリア37社と直接契約

チェジュ航空/アメリカン航空/エアカナダ/エールフランス航空/フィンランド航空/エバー航空/エアプサン/エアチャイナ/チャイナエアライン/キャセイパシフィック航空/中国南航空/デルタ航空/エティハド航空/ハワイアン航空/吉祥航空/香港航空/大韓航空/KLMオランダ航空/ルフトハンザ/ドイツ航空/ジンエアー/スイス航空/マレーシア航空/全日空/マカオ航空/ニュージーランド航空/アジアナ航空/フィリピン航空/カタール航空/エアソウル/スカンジナビア航空/タイ国際航空/ターキッシュエアラインズ/スクート/ティーウェイ航空/ユナイテッド航空/ベトナム航空/イースター航空

■ 国際線LCCキャリア15社とAPI連携

ジェットスターグループ/エアアジアグループ/春秋航空/タイガーエア台湾/バニラエア/スクート/ティーウェイ航空/香港エクスプレス/ピーチ

1 販路、商材の拡大

- 国内航空券に強みを有するエボラブルアジアと海外航空券、海外ホテル、国内・海外ツアーに強みを持つDeNAトラベル相互の商品を補完することで総合OTAとして一層の商材充実
- 相互顧客へのクロスセル。
エアトリ会員52万人とDeNAトラベル会員202万人の合計254万人の会員となり、法人出張顧客はエボラブルアジア1,273社とDeNAトラベル1,388社の合計2,661社。
- シェア拡大によるブランド力の向上



2 コスト削減

- ボリュームディスカウントによる仕入コスト削減
- 開発の効率化及び共通化による開発コストの削減
- 人的リソースの相互補完

1 | 自己資金での買収

株式取得の対価はエボラブルアジアの自己資金で行っており、借入や資本での調達を行っていないため希薄化影響なし

2 | DeNAトラベル子会社化による当社業績への寄与

2019年3月期業績寄与 見込み	(億円)
取扱高	735
売上高	56
EBITDA	5

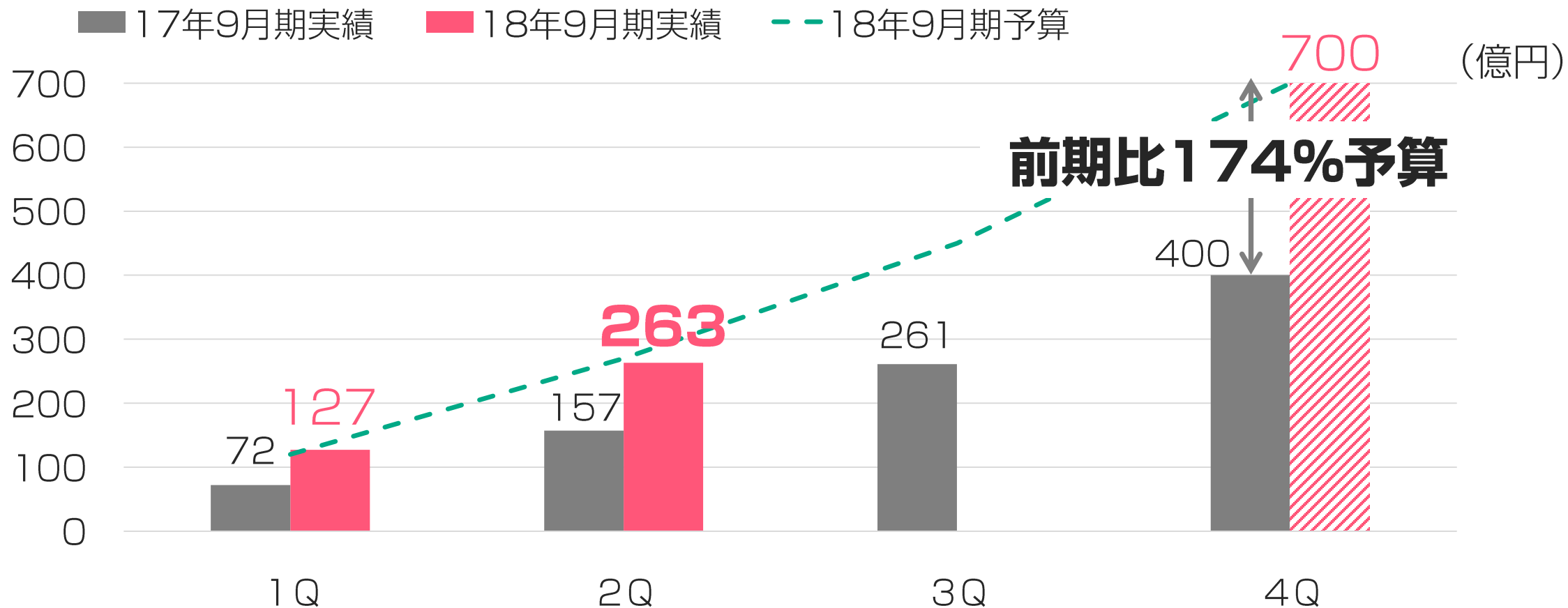
左記数値はDeNAトラベルからの入手資料を元に当社が暫定的に作成した現時点での見込みであり、今後の精査により変更される可能性があります。

3 | 当社連結業績への影響

買収による連結業績への影響については現在精査中であり、影響が判明次第開示いたします。

決算概要

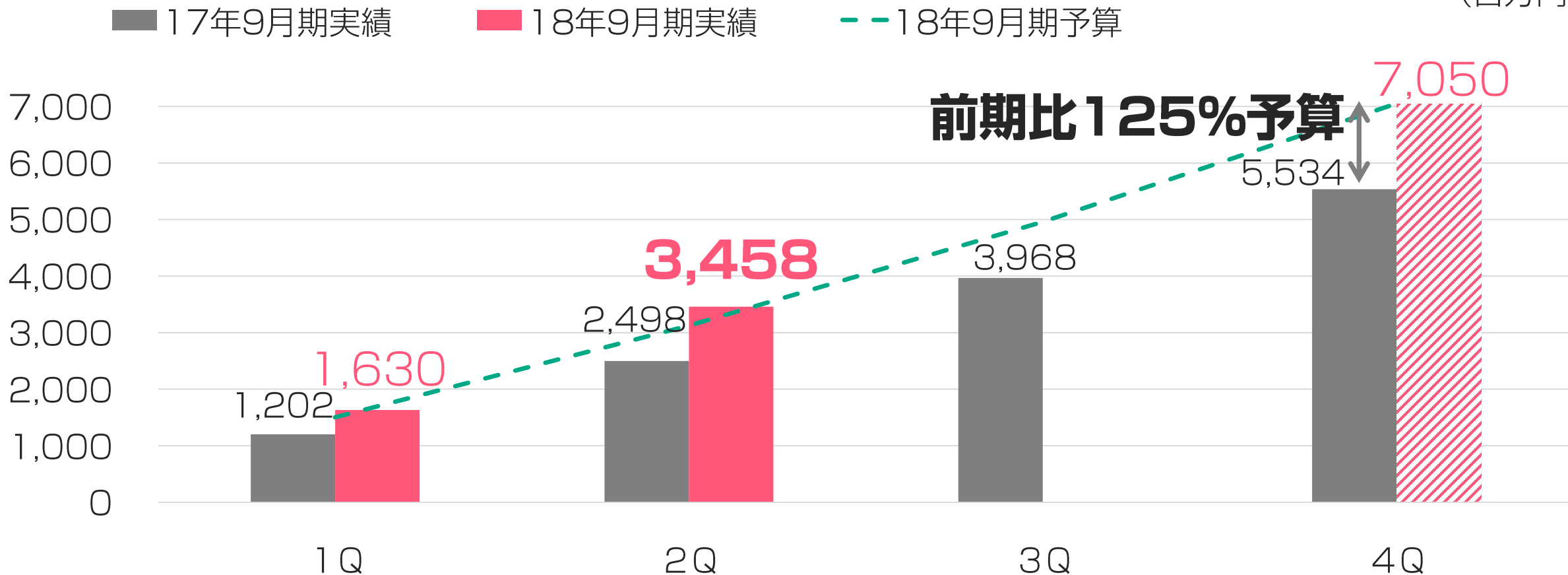
取扱高前期比166% 予算達成ペース



※IFRSベース (未監査)

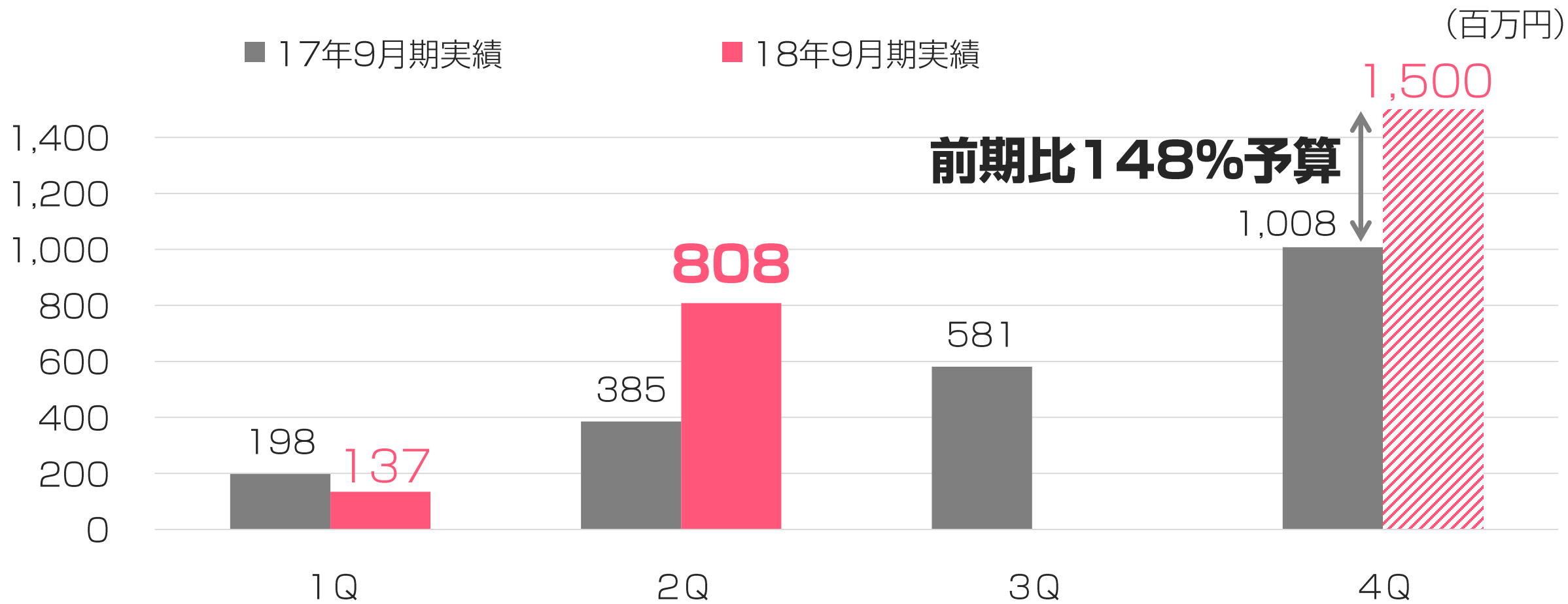
売上高前期比138% 予算達成ペース

(百万円)



※IFRSベース (未監査)

営業利益前期比**209%** 通期予算に対し順調に進捗



※IFRSベース (未監査)

営業利益・純利益いずれも200%超の高成長

(百万円)

	17年9月期2Q		18年9月期2Q ※		前期比
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	
取扱高	15,794	—	26,363	—	166.9%
売上高	2,498	100.0%	3,458	100.0%	138.4%
売上総利益	2,101	84.1%	2,238	64.7%	106.5%
営業利益	385	15.4%	808	23.3%	209.8%
当期純利益	248	9.9%	599	17.3%	241.5%

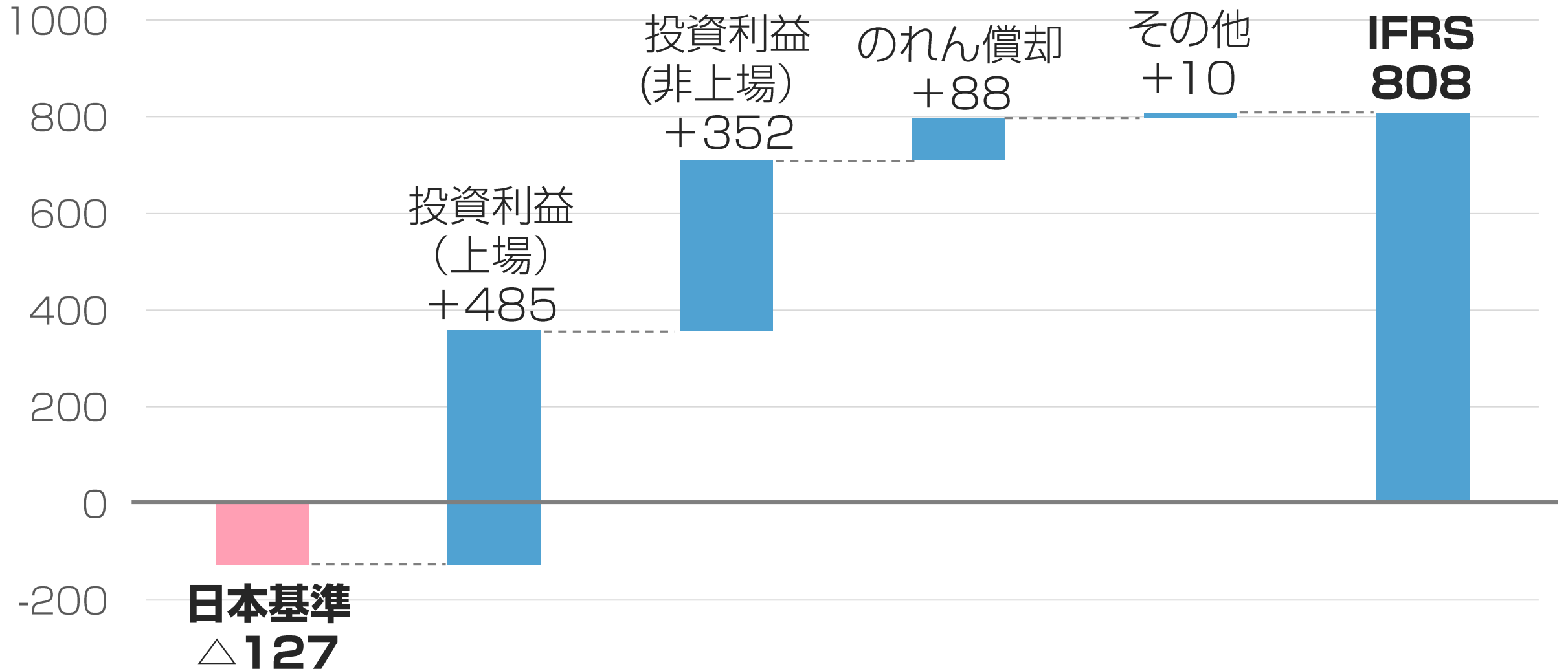
※IFRSベース（未監査）

オンライン旅行事業へ投資促進しつつも全社利益成長

	17年9月期2Q 日本基準	18年9月期2Q IFRS	増減
オンライン旅行事業	587	15	△572
ITオフショア開発事業	59	91	+32
投資事業	—	951	+951
全社費用等	△261	△249	+12
営業利益	385	808	+423

投資事業で獲得した利益を
エアトリの成長投資へ

営業利益 (百万円)



投資M&A、エアトリPRなど成長への投資促進

(百万円)

	17年9月期	18年9月期2Q	増減額
流動資産	5,158	8,075	+2,917
現預金	2,139	3,307	+1,168
営業投資有価証券	1,100	2,007	+907
固定資産	2,320	3,862	+1,542
総資産	7,547	11,937	+4,390
負債	4,252	7,878	+3,626
有利子負債	1,400	4,535	+3,135
純資産	3,294	4,059	+765
自己資本	2,841	3,657	+816
自己資本比率	37.6%	30.6%	△7.0

DeNA トラベル買収影響は現在精査中

【再掲】 2017/11/14公表 当期業績予想

(百万円)

	17年9月期 IFRS		18年9月期 IFRS		前期比
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	
取扱高	40,116	—	70,000	—	174.4%
売上収益	5,633	100.0%	7,050	100.0%	125.1%
営業利益	1,008	17.9%	1,500	21.2%	148.8%
当期純利益	652	11.5%	881	12.5%	135.1%

トピックス

新幹線メニューとホテルメニューを追加



国内・海外格安航空券の最安値販売 予約受付 0570-03-5971 【営業時間】24時間 年中無休 予約確認 キャンセル受付 ログイン/会員登録 ご利用ガイド 日本語

エアトリ

国内航空券 海外航空券 新幹線 ホテル **トラベルコラム**

お知らせ 空旅.comは、エアトリにサイト統合いたしました

往復 片道 **最大83%OFF 割引航空券販売開始!!お早めに!!**

出発 出発地 到着 到着地

行き 5月 14日(月) 帰り 5月 15日(火)

検索 最安値を検索する

CM絶賛オンエア中! check!

マイルとポイントがダブルで貯まる!

オリエンタルラジオ出...

人気の出発地から格安航空券を探す

福岡 ⇒ 東京 (羽田) ¥8,890~	東京 (羽田) ⇒ 福岡 ¥8,890~	札幌 (千歳) ⇒ 東京(羽田) ¥7,090~	東京 (羽田) ⇒ 札幌 (千歳) ¥7,790~
那覇 ⇒ 東京 (羽田) ¥7,190~	東京 (羽田) ⇒ 那覇 ¥8,890~	鹿児島 ⇒ 東京 (羽田) ¥8,890~	東京 (羽田) ⇒ 鹿児島 ¥8,890~
札幌 (千歳) ⇒ 東京 (成田) ¥4,760~	東京 (成田) ⇒ 札幌 (千歳) ¥4,760~	東京 (羽田) ⇒ 熊本 ¥11,190~	熊本 ⇒ 東京 (羽田) ¥5,690~
大阪 (伊丹) ⇒ 東京 (羽田) ¥7,790~	宮崎 ⇒ 東京 (羽田) ¥8,890~	東京 (羽田) ⇒ 宮崎 ¥8,890~	東京 (羽田) ⇒ 大阪 (伊丹) ¥7,790~

TVCMなどにより**エアトリ**ブランド認知度向上

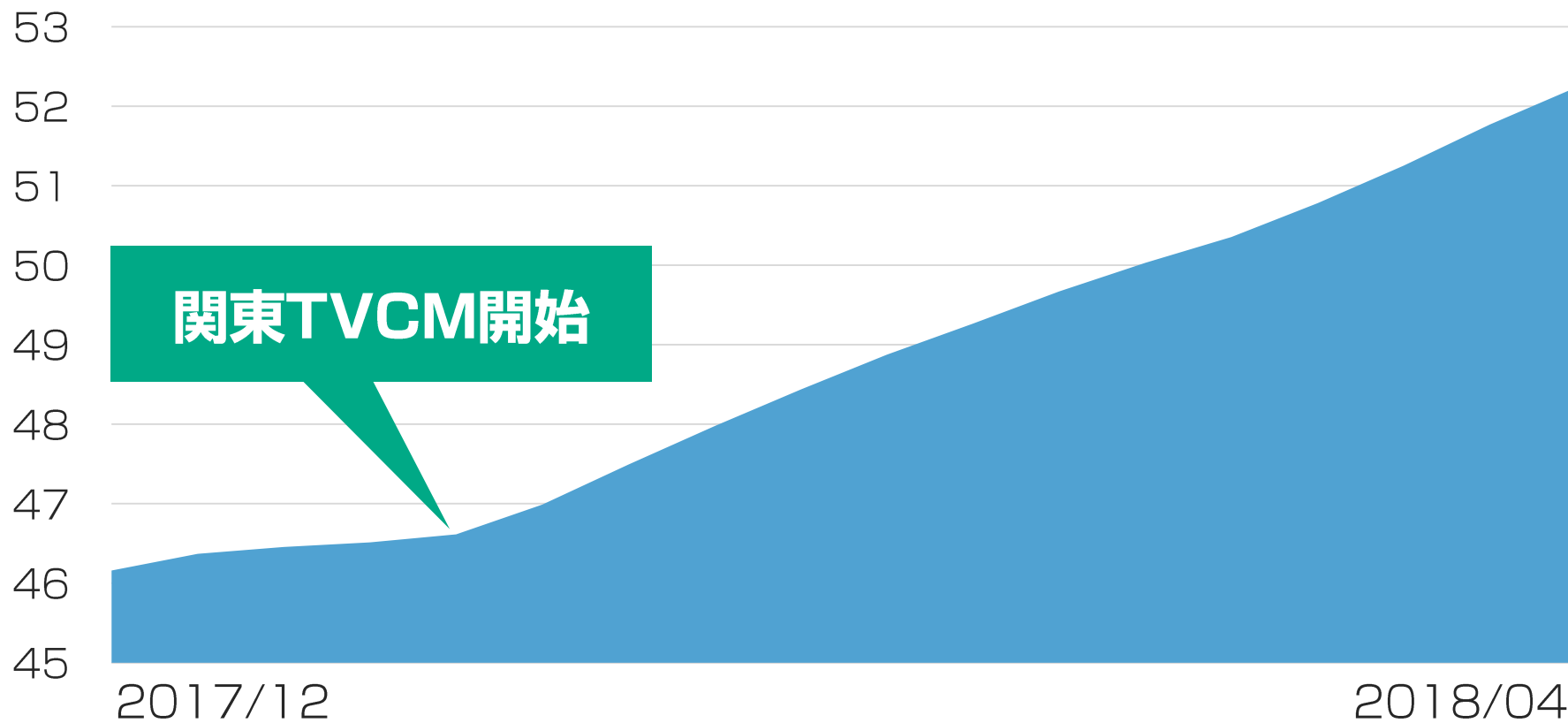
「エアトリ」人気度の動向



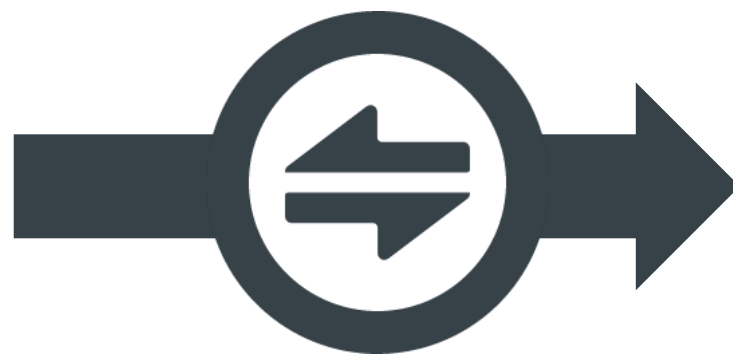
出典：Googleトレンド

プロモーション実績としてエアトリ会員数急増

エアトリ会員数 (万人)



LCCエアアジア・ジャパンとエアトリの システム連携開始



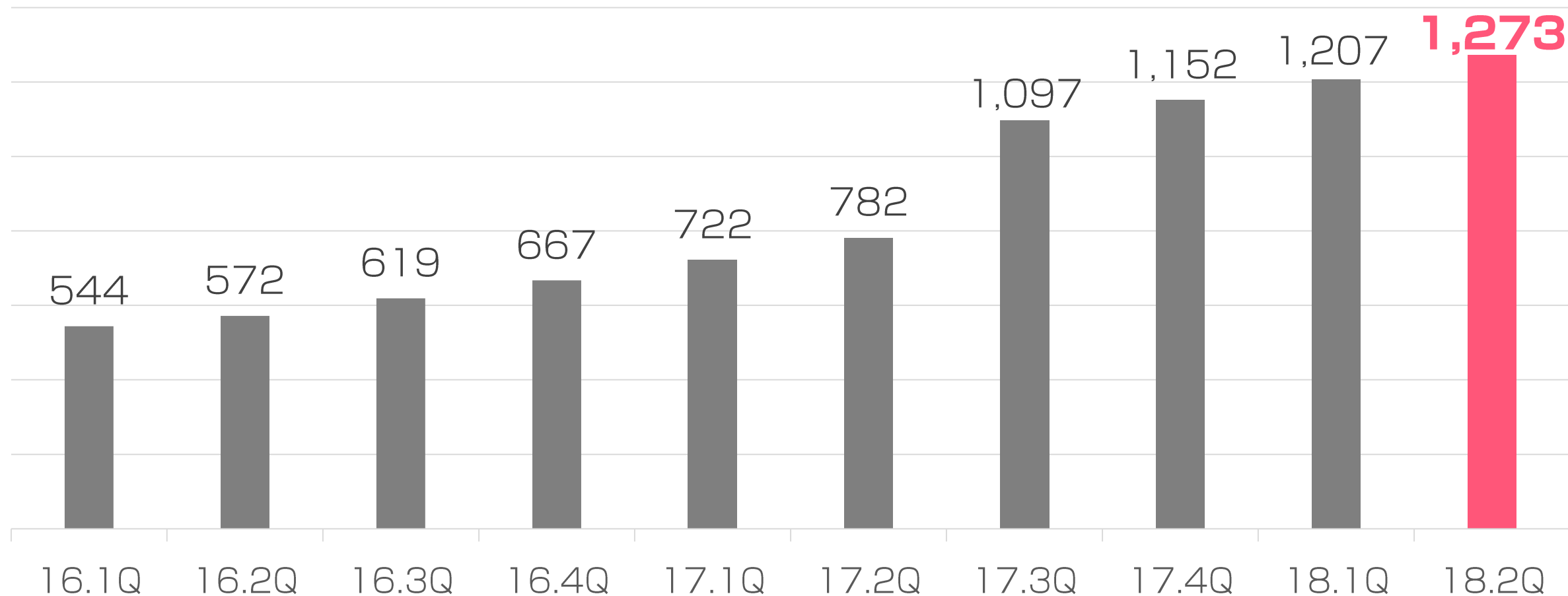
API連携

エアトリ



国内・海外航空券

BTMクライアント順調に増加



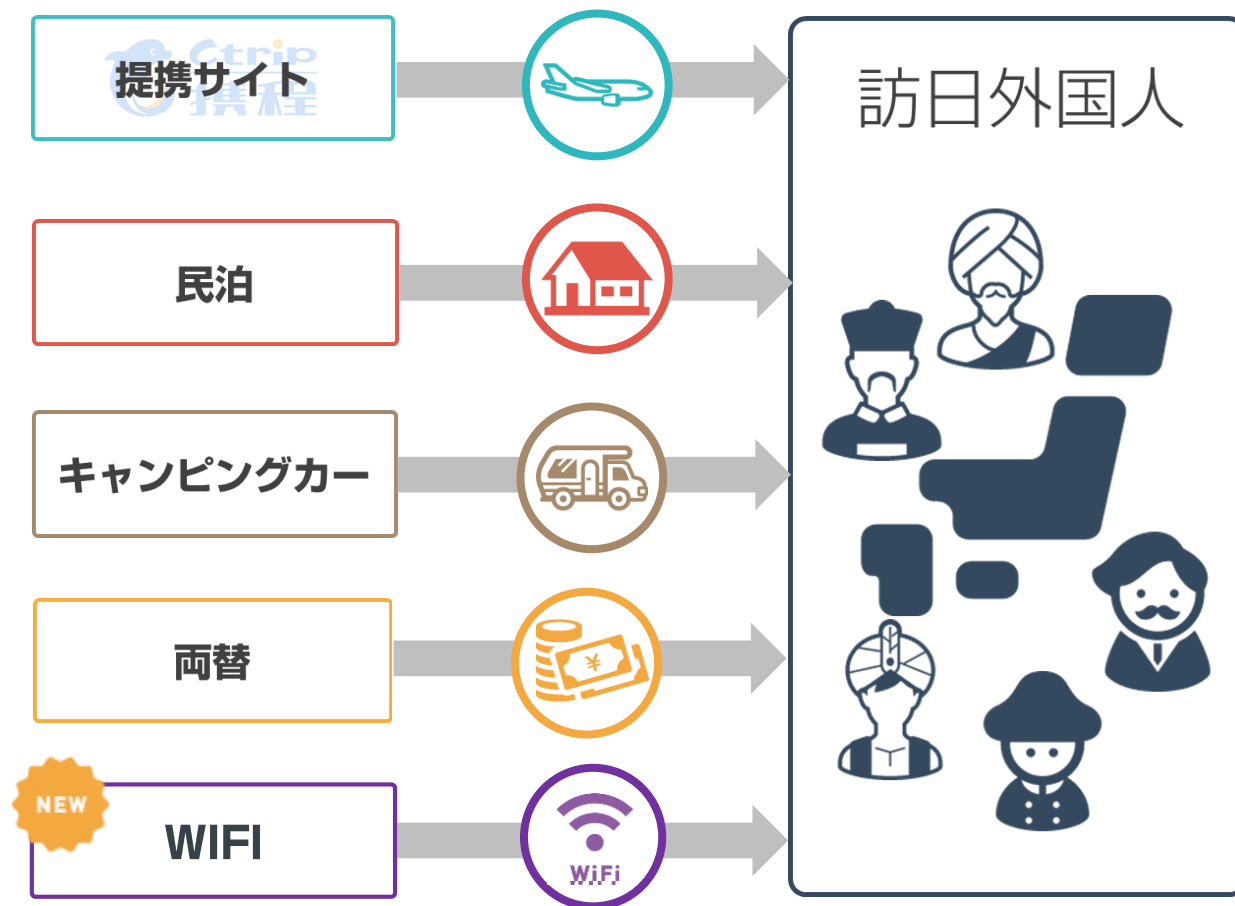
株式会社Destination Japanを子会社化

～訪日外国人向けWi-Fiレンタル事業～

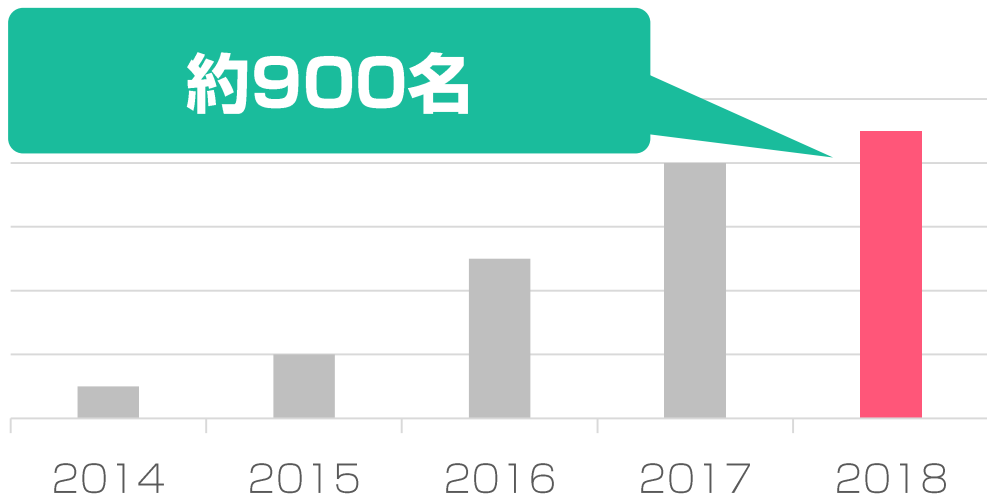


Destination Japan社の概要

欧米向けインバウンドWi-Fiレンタル最大手の一角の会社。訪日外国人向けのWi-Fiレンタルとしては最古参の2013年にサービスを開始し、長年の信頼と口コミでブランドを確立。



グループ会社含め順調に推移



エンジニア数約900名

新規受注 9社



その他6社



前期に続き
「Evolable Asia Solutions」
の上流工程のエンジニアニーズ
により安定成長

投資先の株式会社和心が上場



投資事業上場案件第1号

和心は、「日本のカルチャーを世界へ」の経営理念のもと、訪日外国人をメインターゲットに日本の伝統・文化・芸術の要素が詰まった商品・サービスを提供する会社です。小売事業をメインとし、実店舗を構えたかんざしや和傘等の販売や、着物の着付けサービスや宅配着物レンタルサービスの提供をおこなっております。

※当社投資事業において初の上場案件

投資育成を強化 32社総投資額累計14億円

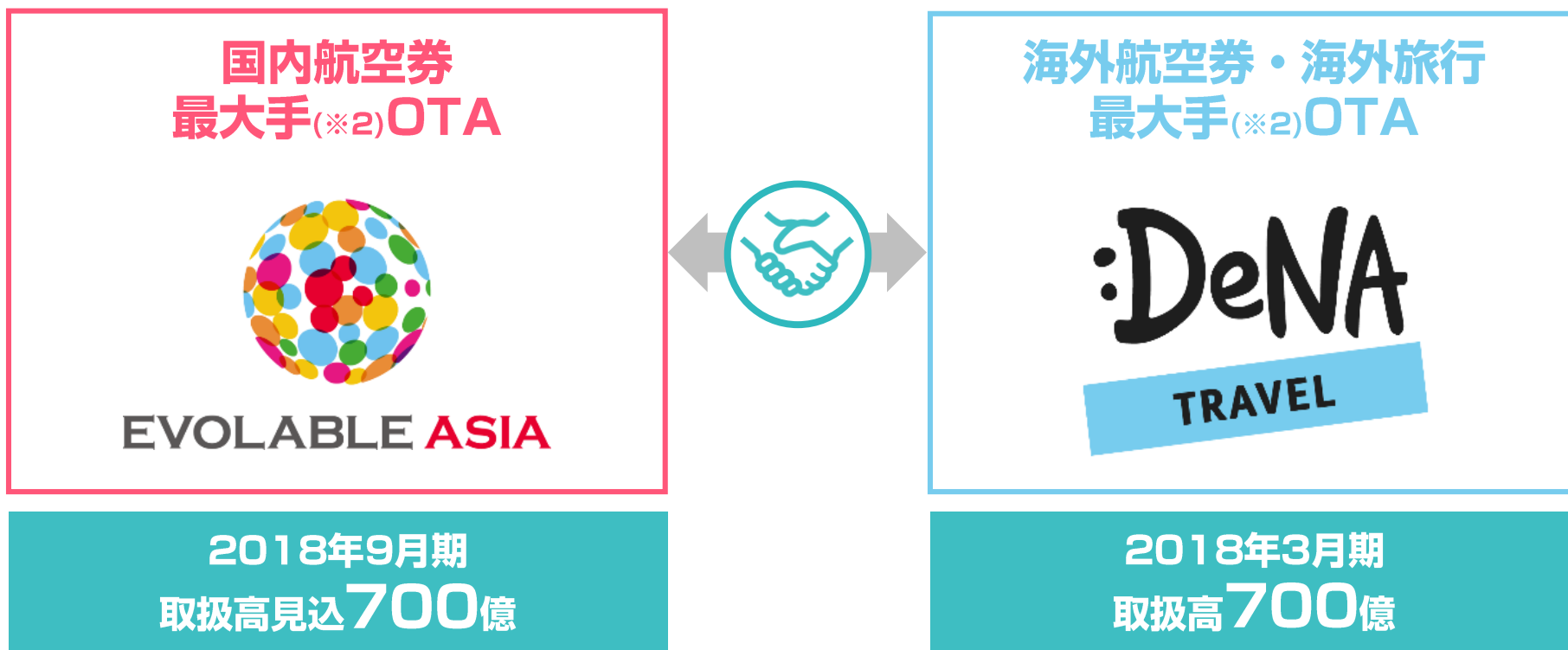
※2018年3月末時点



IPOなど企業価値向上を目指す

AMBITION ROBOT PAYMENT GOLFLIFE AOS CSC
adval kanxashi Extech WILLGATE
Cocolive PIALA CINOSMILE BIKE STARTUP & CO. 株式会社自転車創業
CONVERSION TECHNOLOGY Fan's donut robotics tabiko hachidori
SPACE MANAGEMENT wagokoro Headwaters SWITCH★SMILE ...etc

取扱高合計1,400億円 業界第2位^(※1)の総合OTAへ 取扱高2,000億円を目指す



※1当社調べ。日系総合OTA業界において。
※2当社調べ。



EVOLABLE ASIA

- 本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- 当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- 本資料における将来展望に関する表明は、利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。